

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2021年
1月号

Vol.68 No.790

巻頭言

年頭所感 篠原健一

会 告

第37回日本診療放射線技師学術大会

叙 勲

旭日単光章

新春企画

2021年新春座談会



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

新 年 謹 賀

2021年 元旦

本年もよろしくお願ひいたします

理事（総務）	鈴木 雄一	委員長（第四地区）	小林 隆幸
理事（経理）	関 真一	委員長（第五地区）	中田 健太
理事（庶務）	野口 幸作	委員長（第六地区）	伊佐 理嘉
理事（涉外）	高野 修彰	委員長（第七地区）	富丸 佳一
副会長	篠原 健一		
副会長	白木 尚		
副会長	麻生 智彦		
監事	葛西 一隆		
監事	野田扇三郎		
顧問	中澤 靖夫		
理事（教育）	市川 篤志	委員長（第九地区）	西郷 洋子
理事（厚生調査）	江田 哲男	委員長（第十地区）	澤田 恒久
理事（情報）	竹安 直行	委員長（第十一地区）	千葉 利昭
理事（広報）	長谷川雅一	委員長（第十二地区）	小野 賢太
理事（SR推進）	渡辺 靖志	理事（第十三地区）	鮎川 幸司
理事（将来検討）	石田 秀樹	理事（第十四地区）	宮谷 勝巳
委員長（第一地区）	増田 祥代	理事（第十五地区）	原子 満
委員長（第二地区）	島田 諭	理事（第十六地区）	関谷 薫
理事（第三地区）	平瀬 繁男	事務局	引地 春枝

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2021年
JAN
CONTENTS

目 次

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感	4
会告1 第112回日暮里塾ワンコインセミナー	5
会告2 第113回日暮里塾ワンコインセミナー	6
会告3 2020年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	7
会告4 第37回日本診療放射線技師学術大会	
第23回アジアオーストラレーシア学術交流大会	
第28回東アジア学術交流大会	8
お知らせ1 2020年度新入会員に対する入会特典について	9
お知らせ2 東放技 Web開催研修会等受講方法について	10
お知らせ3 本会ホームページがリニューアルされました	12
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	13
叙 勲 旭日単光章	14
新春企画 2021年新春座談会	16
こ え	
・「診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナー」に参加して	森 寛菜 26
・第108回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	福永慎一郎 27
パイプライン	
・第36回日本診療放射線技師学術大会 (Web開催)	28
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2020 No.7)	29
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2020 No.8)	30
2020年4月～11月期会員動向	31
2020年度第8回理事会報告	32

Column & Information

・求人情報	31
・学術講演会・研修会等の開催予定	34
・東放見聞録	35

2021年の表紙

昨年はコロナウイルスにより、世界規模で人的、社会的ダメージを大きく受けましたが、今年の表紙の色は若葉の力強い生命力にあやかり、人類がウイルスに打ち勝てるよう願いを込め選定しました。

本年もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

編集委員会

卷頭言



年頭所感

会長 篠原健一

2021年を迎えて、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本会事業の推進につきましてご理解ご協力をいただき深く感謝致します。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

数えましたら、拙稿で60本目の巻頭言となりました。1本目の掲載は、2011年4月号でした。当時、総会は年2回制で、同3月5日(土)の第60回定期総会にて信任されました。任期はまだスタートしていません。原稿締め切りは前々月末なので、本会会長に信任される前に執筆しています。

総会で信任されて、4月からの会務運営を考えながらボーッとしていたところ、3月11日(金)に東日本大震災が起き、引き続き福島第一原子力発電所事故が起きました。3月中はまだ前会長の任期中とはいえ、当時の中澤会長の動きは実に素早いものでした。翌週には「都庁に行こう!」という電話があり、二人で都庁のさるセクションを訪ねました。その時の都庁でのやり取りは割愛しますが、リーダーとはこうあるべきだと身を持って教えてくださったと思っています。

その後の被災地や都内避難所でのサーベイ活動につながったことは、皆さまのご記憶にあることと思います。3月24日(木)からビッグサイト避難所サーベイ活動、4月25日(月)から5月22日(日)までは味の素スタジアムサーベイ活動となりました。延べ214人の方にご参加いただきました。今でも、時々名簿をながめて、胸の中で感謝を申し上げております。

なお、今年の11月には、そのビッグサイトにて第37回日本診療放射線技師学術大会・第23回アジアオーストラレーシア学術交流大会(23rd AACRT)・第28回東アジア学術交流大会(28th EACRT)が開催されます。震災・原発事故から10年、市川大会実行委員長も「あの時のことを風化させない」という思いの企画を立案しています。

さて、諺語には「六十にして耳順う(ろくじゅうにしてみみしたがう)」とあります。『六十歳で他人の意見に反発を感じず、素直に耳を傾けられるようになる』そうです。そうでなければいけない、ということでしょうか。私自身は一昨年還暦となりましたが、自分に当てはめると、時には?もあります。耳が逆さまについているのではないかと思えるような政治家もいます。

60回にちなみ、脈絡もなく綴ってまいりましたが、この60という数字について考えますと、まずあなたでも“60進法”を思い浮かべると思います。ちなみに、60進法は、古代メソポタミア文明に発するといいます。立方体の面の数(6)、両手の指の数(10)、太陰暦の月数(12)、両手・両足の指數(20)、ひと月の日数(30)の最少公倍数で、約数が多いので分割するのに都合がいいからとされています。その後のヨーロッパ世界でバビロニアの小数の概念を取り入れたことから、角度を表すときの1度未満の単位や、1時間未満の時間単位が60進法なのだと思います(Wikipedia)。

あまり“60”にかかりづらっていると、「目標体重、60キロ!」という妻の小言が飛んできそうなのでこの辺で閉じます。

皆さまそれぞれに新たな抱負を持って新年を迎えられたことと思います。われわれも、11月の学術大会は、“新たな時代の、新たなスタイルへの挑戦”と位置付け取り組んでいます。皆さんにとってもよい出来事があり、素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

会 告

1

第112回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「グリッドの理解と最新技術」

講師：三田屋製作所 営業グループ 横内 悟朗 氏

第112回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

日常業務において何気なく使用しているグリッドをテーマと致しました。撮影条件、散乱線を理解し正しく使用するには、どのようにすればよいか分かりやすく講義していただきます。そして、グリッドの最新技術についても情報を共有したいと思います。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。

不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2021年2月3日（水）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：30名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で、順次通常の参集型セミナーを再開してまいります。

会 告

2

第113回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「骨密度測定の理解と最新技術」
～TBS、3D-SHAPER、Echoシステム～

講師：東洋メディック株式会社 営業本部 篠原 健太 氏

第113回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回は、骨密度測定がテーマです。基本的なことから検査結果より読み取れることなど、臨床症例などを交えながら分かりやすく講義していただきます。最新技術についても皆さんと情報を共有したいと思います。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。

不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2021年2月18日（木）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：30名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で、順次通常の参集型セミナーを再開してまいります。

2020年度 SR推進委員会(公益・災害)研修会<オンライン開催> テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させない～」

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、本年度も研修会を企画しました。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルスの影響により延期されましたが2021年に開催が予定されています。政府は、オリンピックを見据えたテロ対策推進要綱を公表しており、そのひとつとして「テロ対策・NBC災害対応力強化」を挙げ、対応策をとりまとめています。われわれも緊急被ばく医療に対する対応を、十分に考慮しておく必要があると考えています。

本年度は放射能汚染傷病者、もしくは汚染の可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要なスキル、主に施設養生をテーマに実施します。

また、同じ内容で下記日程の通り2回開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。

不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

～プログラム～

- 緊急被ばく医療について
- 院内ゾーニング・施設養生について

記

日 時：[第1回] 2021年3月 6日（土）14時00分～17時00分（オンライン開催）
[第2回] 2021年3月14日（日） 9時00分～12時00分（オンライン開催）
※第2回は第1回研修会の再配信とする予定です。

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：20名（先着順）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

4

第37回日本診療放射線技師学術大会 第23回アジアオーストラレーシア学術交流大会 第28回東アジア学術交流大会

—開催のお知らせ—

第37回日本診療放射線技師学術大会および第23回アジアオーストラレーシア学術交流大会(23rd AACRT)、第28回東アジア学術交流大会(28th EACRT)を2021年11月12日(金)から14日(日)までの3日間、東京ビッグサイトにて開催致します。

本大会は「国民と共にチーム医療を推進しよう」～「技術の多様性と人の調和」を掲げ、準備を進めております。

現段階では、延期された東京五輪・パラリンピックは開催の方針、国の政策や海外からの受け入れ態勢などを見据え、一部対面参加型、一部Web(ライブ配信+オンデマンド方式)でのハイブリッド開催とする計画であります。

経験のない方式や、先の見えない感染症対応・状況の変化などの要素による糺余曲折が予想されますが、可能な限り従来の学会発表や各種講演・セミナーの形式で開催し、その上で今後の社会に向けた新たな方法や可能性を探っていきたいと思います。

会員の皆さんには、さまざまな点でご不便をおかけするかもしれません、われわれと共に新たな社会に向けて歩き出そうではありませんか。

皆さまのご参加をお待ちしております。

記

学術大会名：第37回日本診療放射線技師学術大会

第23回アジアオーストラレーシア学術交流大会

第28回東アジア学術交流大会

期　　日：2021年11月12日(金)・13日(土)・14日(日)

会　　場：東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

主　　催：公益社団法人日本診療放射線技師会

実　　施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

演題募集：2021年2月15日(月)～4月30日(金)(詳細は2月号)

参加登録：2021年4月1日(木)～9月30日(木)

以上

2020年度新入会員に対する入会特典について

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、皆さまの健康と安全を第一に考慮しました結果、2020年2月より研修会などの活動を自粛してきました。

新卒かつ新入会員の皆さまが本来受けられる会員特典のひとつである、本会主催の一部研修会（下記参照）の無料受講が、本年度においては実施されることが少ないとみて、2020年度の新卒かつ新入会員の皆さまにおいては、2021年度も無料期間とすることに2020年度第3回理事会にて承認されたことをお知らせします。

【新卒かつ新入会員の受講料無料事業】

- ・サマーセミナー
- ・ワインターセミナー
- ・日暮里塾ワンコインセミナー
- ・東放技・東京支部合同学術講演会
- ・支部研修会
- ・地区研修会 等

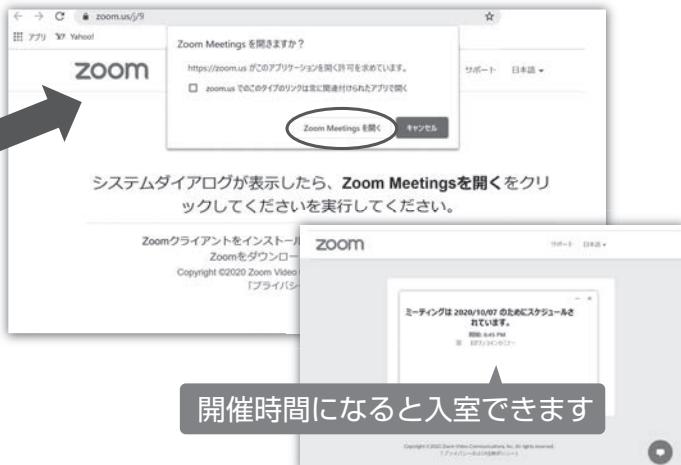
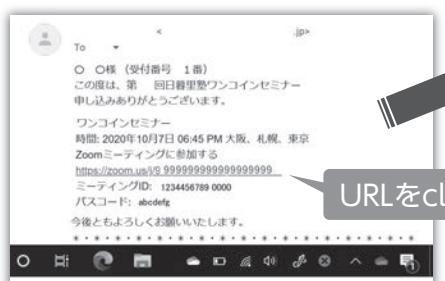
以上

お知らせ 2

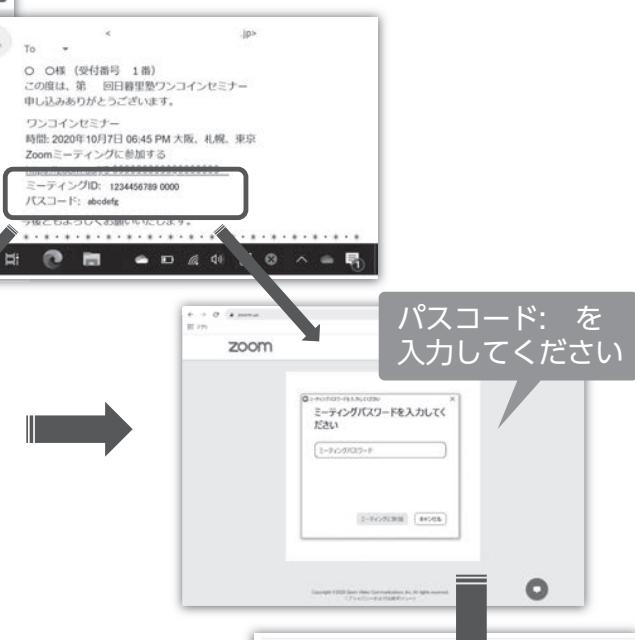
東放技 Web開催研修会等受講方法について

【Zoom参加手順】

メールURLより



Zoomホームページより

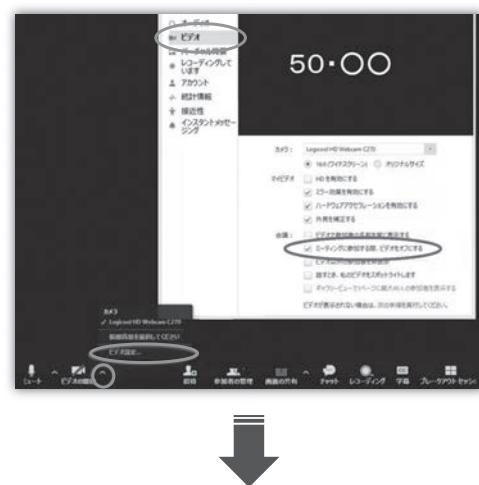


※注意点として

- ①「参加者」より
名前を入力してください



- ③「ビデオをオフにする」
にしてください



- ②「マイクをミュートにする」
にしてください



確認をお願い致します



当日はよろしくお願い致します

お知らせ 3

本会ホームページがリニューアルされました

本会の活動状況や放射線安全に関する情報をより分かりやすく皆さまにお知らせできるよう、一新致しました。



URL : <https://www.tart.jp/>

【大きな変更箇所】

- ① 携帯やタブレットなどでも適切に表示されるようになりました。
- ② 研修会などのイベント申し込みが、入力しやすくなりました。
- ③ イベントがカレンダーから探しやすくなりました。
- ④ 支部地区一覧を作り、会員の所属地区が分かりやすくなりました。

情報委員会

お知らせ

4

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区的表が掲載されています。

“当会の概要”から“支部・地区一覧表”をお選びください。

The screenshot shows the homepage of the Tart website. A large arrow points from the question "あなたはご自分の所属地区をご存じですか？" down to the "Branches and Region Catalog" section. This section includes the Tart logo, navigation links (一般の方へ, 当会の概要, 入会案内・各種手続き, 研修会・イベント情報, 求人情報), a contact form, and a photograph of a medical professional. Below the catalog, there's a "Branches and Region Catalog" heading, a brief introduction about the 16 regions, and a "Regions Introduction Page" link. A second arrow points from the "Branches and Region Catalog" heading down to the "Regions Introduction PDF" button.

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報

お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区的特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

叙勲 旭日単光章 受章



かさい かずたか
葛西 一隆

昭和25年8月2日生（70歳）

経歴

昭和47年9月	中央診療エックス線技師養成所	卒業
昭和55年3月	芝浦工業大学電気工学科	卒業

職歴

昭和45年4月	財団法人 弥生会診療所	勤務
昭和46年2月	同	退職
昭和46年3月	医療法人社団 友愛病院 神田診療所	勤務
昭和47年3月	同	退職
昭和47年9月	医療法人栄和会 荒川病院	勤務
昭和48年7月	同	退職
昭和48年8月	東京中央放射線診療所	勤務
昭和49年2月	同	退職
昭和49年2月	医療法人栄和会 荒川病院	勤務
昭和50年7月	同	退職
昭和50年7月	医療法人財団 東京成仁病院	勤務
昭和51年8月	同	退職
昭和51年10月	帝京大学医学部附属溝口病院	勤務
平成13年4月	同	退職
平成13年5月	帝京大学附属放射線学校	勤務（出向）
平成17年3月	同	退職
平成17年4月	帝京大学医療技術学部診療放射線学科	勤務（転属）
平成28年3月	同	定年退職
平成29年4月	一般社団法人 千葉衛生福祉協会千葉診療所	勤務

団体歴

昭和62年4月～平成9年3月	社団法人東京都放射線技師会	地区委員長（第15地区）
平成9年4月～平成11年3月	社団法人東京都放射線技師会	理事（学術担当）
平成11年4月～平成28年6月	社団法人東京都放射線技師会	副会長
平成20年10月～平成21年9月	関東甲信越放射線技師会学術大会	実行委員長
平成28年6月～	公益社団法人東京都診療放射線技師会	監事

賞罰関係歴

平成5年10月	川崎市保健衛生功労賞：川崎市
平成6年5月	永年勤続表彰（20年）：社団法人東京都放射線技師会
平成15年11月	永年勤続表彰（30年）：社団法人日本放射線技師会
平成22年5月	東京都知事感謝状（診療放射線業務に精励、都民の健康保持と増進に貢献）：東京都
平成29年6月	厚生労働大臣表彰（診療放射線業務功労）：厚生労働省

旭日単光章を受けて

葛西一隆

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、令和2年11月3日秋の叙勲に際し「旭日単光章」を受章致しました。令和2年11月5日（木）東京都庁第一本庁舎5階大会議場にて小池百合子知事より直接、旭日単光章の勲記及び勲章の伝達を受けました。

なお、厚生労働省より叙勲受賞者及び褒章受章者の天皇陛下拝謁並びに大臣伝達式は、実施しないことで残念です。

受章に際し、篠原健一会長はじめ各理事、表彰委員会から推薦いただいたことを心から感謝申し上げます。また、審査書類の作成では高野修彰理事には多大なるご指導を賜りました。あらためてお礼を申し上げます。

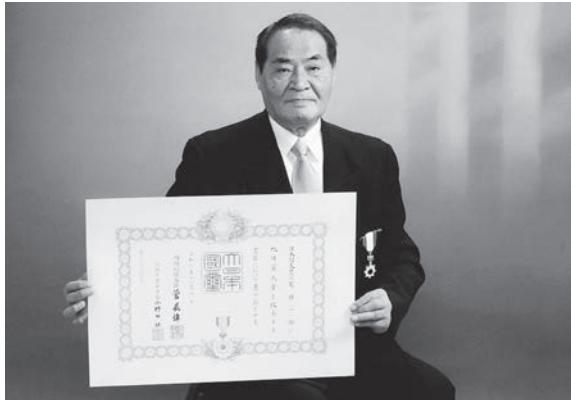
昭和45年、診療X線技師の助手をしながら技師として帝京大学医学部附属溝口病院・帝京大学医療技術学部診療放射線学科に勤務し、今は検診業務に携わっています。

技師会活動は、昭和61年より第15地区委員に始まり地区委員長、理事、学術委員長、副会長と歴任し、今は監事を担当しております。今まで故 岩田会長、神田会長、中澤会長、篠原会長に仕えてきました。これからも技師会活動を楽しみながら活動したいと思います。

趣味は乗り鉄です。JR・私鉄はほぼ制覇できたかと、先日、第三セクター鉄道による鉄印を制覇できました。

最後に今後とも公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健康と活躍をお祈り申し上げ、御礼と感謝の言葉に代えさせていただきます。

どうもありがとうございました。



葛西一隆様の叙勲の祝辞

会長 篠原健一

このたびの令和2年度秋の叙勲におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された葛西一隆様が旭日単光章を受章されましたことをご報告し、心よりお祝いを申し上げます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受章であり慶びに堪えません。

葛西様は昭和47年に中央診療エックス線技師養成所を卒業され診療放射線技師免許を取得されて以来45年以上の永きにわたりこの道一筋に奉職されました。

また、平成13年からの約15年間は診療放射線技師を養成する立場となられ、多くの後進を育成されました。

本会では、私の前任の中澤会長の時代から私の任期の前半まで実に17年間、副会長に就任されたほか、理事、学術委員長、第15地区委員長、監査監事などを歴任されました。明るく、誰からも愛される人柄で、どのような立場であっても常に現場に関わっていく姿勢は、多くの会員に感銘を与えました。

このたびの葛西様の受章は、診療放射線従事者としての国民医療・地域医療・資格教育に対する功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、葛西様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

2021年 新春 座談会



代表理事・会長、
大会長
篠原健一

理事・副会長、
副大会長
白木 尚

理事・副会長、
副大会長
麻生智彦

理事・教育委員長、
実行委員長
市川重司

理事・学術委員長、
副実行委員長
市川篤志

理事・庶務委員長、
副実行委員長
野口幸作

はじめに

篠原会長：皆さん、あけましておめでとうござい
ます。

一同：おめでとうございます。

篠原会長：昨年は新型コロナ一色と言ってもいい

ような年で、現時点でもまだ予断を許しませんが、本会もさまざまな制約や障害がある中、学術、教育、その他役員の皆さまのご努力により、下半期10月からの3カ月だけでもフレッシャーズ、ワンコイン合同企画セミナーを3回、単独でのワンコインセミナーを8回開催致しました。

これらは3密を避けるためとはいえ、全てオンライン上、ウェブでの開催で、募集人員も絞らせていただき、会員の皆さまにはご不便、ご面倒をお掛けしたことを、改めておわび申し上げます。

それでも、お叱りの声もなく、大変ですが感染に気を付けて頑張ってくださいと励ましのお言葉を頂戴したことは本当にうれしく思っています。

さて、今年の新春座談会は、三役の他に学術、教育関係の皆さんを交えて、今後の新たな社会における学術・教育事業展開等についてお話し



したいと思います。

また、今年の11月には第37回日本診療放射線技師学術大会、および第23回AACRT、第28回EACRTを東京ビッグサイトで開催致します。市川重司実行委員長、野口副実行委員長、市川篤志副実行委員長を中心に新たな学術大会の形、新たな取り組み、大きな抱負を語り合いたいと思います。

今後の東放技における事業の展開について

篠原会長：まずは昨年前半にさまざまな事業が中止や延期となったこと、後半にかなりの密度で濃い企画を練っていただいたこと、また、それぞれの今後の展望等についてお聞きしたいと思います。ではまず白木副会長、学術大会では副会長ですね、よろしくお願ひします。

白木副会長：はい。会員の皆さんには、昨年からお会いできる機会がなく、とても寂しく感じている今日このごろです。篠原会長からお話をありました通り、昨年の4月から9月まではイベントが全て中止、あるいは無期延期となり会員の皆さんには大変申し訳なく感じているところです。その中で、学術・教育委員会では10月から企画を再開しなくてはと、試行錯誤でのWeb配信のワンコインセミナーを毎週企画し開催しました。この行動力には敬意を表しているところです。

今後は会員の皆さんにどのようにすればメリットのあるサービスが提供できるか、会員無料イベントの開催やリニューアルされたホーム

ページのさらなる活用等にも取り組んでいきたいと思っています。会員の皆さんからもぜひご意見・アイデア等を頂ければありがとうございます。

篠原会長：ありがとうございます。続いて、学術大会副大會長でもあります麻生副会長、よろしくお願ひします。

麻生副会長：新年明けましておめでとうございます。私は昨年6月から副会長として着任をしたばかりで、まだ1年に満たない会務の状況です。そういう中で、私がまずやらなければいけないことは、篠原会長をしっかりとサポートしていくことです。会務における会長の信念や事業をサポートすることが役務であります。

そして、やはり会員あっての本会ですので、安心して相談できたり、みんなが集えたり、笑顔が絶えない、さらに魅力ある東京都診療放射線技師会を築き上げていきたいと思っています。



白木副会長からもありましたが、ホームページが昨年リニューアルされて、素晴らしいものが出来上がったと思います。同時に会誌を日々の業務をしながら毎月発行するのは、本当に大変な尽力だと思っています。

今後は、ホームページを活用した展開や事業として、会誌と連携した企画などにつながればと思います。例えば、昨今医用画像はカラー画像、3D画像、動画が主流となり増えてきていますので、会誌にQRコードを載せて、ホームページに上げた動画と連携を取るといったような情報提供の在り方もニーズに合っているのではと思っています。

自分の医療従事者としての思いですが、何よ





り、まずは「健康で笑顔」であることが一番だと思っています。これはフレッシャーズセミナーでも話した内容ですが、患者さんは病に伏して医療を求めています。最善の医療提供をするためにわれわれに悩みや体調不良等があつてはいけないです。常に健康で明るくいてこそ最善の医療提供が成されると考えています。そして、自分の職業や仕事に誇りを持ち、当たり前のことを当たり前に実施できる診療放射線技師会を目指したいと考えています。初めてなので少し所信っぽく堅い話になりましたが（笑）以上です。

篠原会長：ありがとうございます。続いて教育担当、また学術大会実行委員長の市川重司理事、お願ひします。

市川重司実行委員長：本年もよろしくお願ひ致します。昨年を振り返ると、ちょうど1月ごろから、そのころは学術教育委員会としてやらせていただいたのですが、新型コロナウイルス感染症拡大が危惧され、2月後半からのセミナー等々の企画は断腸の思いで全て中止に致しました。これは年度が替わった4月以降も続きまし

た。そういう状況下でもがきながら次に何をすればいいかを模索する日々だったのですが、ウェブというインターネット上の勉強会・セミナーがあちこちで開催され始めているので、東放技も遅れず開催していこうということでお4月以降に、検討を重ねてまいりました。

本年度よりお互いに分かれて活動することになった教育と学術ですが、新しく学術理事に着任した市川篤志理事と相談して、ウェブ上で開催することとなりました。しかも、いきなりハードだとは思うのですが、やるなら徹底的に、毎週開催しようということで、昨年10月から12月までの3カ月で、11回開催することができました。

これは皆さんのご協力とご理解、そして参加していただいている会員の皆さまの温かい気持ちがあつて実現できたことだと本当に感謝しております。今年も引き続きこのペースで進めていきたいと思っていますが、今後、新型コロナウイルス感染症の状況次第ではありますが、私は会場型で開催するのが一番だと考えています。どのような形になるかは未確定ですが、今年もあらゆる対応策、知恵を絞りながら進めていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

篠原会長：ありがとうございます。続いて野口理事、庶務担当、学術大会副実行委員長、よろしくお願ひします。

野口副実行委員長：話したいことは一通り出てしましました（笑）。私は、学術関係は庶務の立場で執行部の1人として企画、運営に参加させていただきました。試行錯誤しながらウェブでの開催を模索しつつ進めてきたのですが、日々





何かしらのトラブルが発生しています。

ですが、これも何とか乗り切ってきているので、この経験を基に、先ほど麻生副会長もおっしゃったように、会員のためになる講習会、研修会等をいろいろな手段・方法で、学術・教育と協働しながら東放技全体で進めていきたいと思っています。

篠原会長：野口理事、日本診療放射線技師会の教育委員で、南関東地域の教育委員幹事としても何か一言いただけますか。

野口副実行委員長：はい、東京都の教育委員、また南関東地域の教育委員幹事としても活動しているのですが、昨年は日本診療放射線技師会主催の統一講習会は半分開催できず、後半からの開催となりました。

参加者数の問題、また実習指導者の問題など多々発生していますが、どうにか開催している状況です。この講習会は会場型でないといけない実習の部分が含まれているので、日放技と協力しながら、また南関東地域も一体となって進めています。こちらのほうも皆さんのご協力をお願いします。

篠原会長：ありがとうございます。続いて学術担当、市川篤志理事、学術大会副実行委員長、よろしくお願い致します。

市川篤志副実行委員長：新年明けましておめでとうございます。よろしくお願い致します。

本年度より学術委員長を拝命しました。ただお引き受けはしたもの、不慣れな上に、さらに新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止などが重なり、会員の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。

セミナーや研修会が開催できず、大先輩の市

川重司理事の指導の下、いろいろなアドバイスをいただきながら、ようやく10月からウェブ形式で日暮里塾ワンコインセミナーを開催することができるようになりました。

ただ、ウェブセミナーの開催自体が初めてのこと、開始当初は手探りの運営に受講者のみなさんも戸惑ったかもしれません。トライアンドエラーを繰り返しながら最近はようやく形になってきたのかなと思っています。

現状は、ひとまず日暮里塾ワンコインセミナーを本年度3月まで企画しています。次年度以降は会場開催の希望もあるので、市川（重司）理事ともご相談しながら、会員にはより良いものを企画していければと考えております。

また、きめこまかな生涯教育のウェブ開催も検討しています。うまくいけばウインター、サマーセミナーなどの開催も考えています。

コロナ禍以前と同様の企画を開催するのは、今は難しいと思うのですが、それに近い企画ができればいいかと思っています。会員の皆さまが、たくさん期待をしてくださっていると思って、できる限り頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

2021年 日本診療放射線技師学術大会の準備状況と目指す学会形態など

篠原会長：ありがとうございます。次に冒頭でもお話ししました今年11月の学術大会についてですが、市川重司実行委員長より従来開催と違う部分について、おおまかにお話しいただければと思います。

市川重司実行委員長：はい、従来型の学術大会開催は誰しも共通の願いですが、昨年からはウェブを中心とした学術大会が日本国内、海外を含めて多く見られます。第37回日本診療放射線技師学術大会では、ハイブリッド型といって一部会場型、そして一部はウェブ型を併せたような開催方式を取りたいと考えています。

会場型は、従来通り演題発表を中心にしっかりと感染対策をして発表に来ていただく形を想定しています。ウェブ開催に関しては特別講演をはじめとする企画物での配信を考えています。

今回1つの大きな目玉としては、今後の学術大会のあるべき姿を求めていく、探していくということで、ウェブ上での学会発表を検討しています。

例えば、座長が北海道から、そして発表者が九州や沖縄と、いろいろな地方からウェブ上に会することで、日本をまたいでウェブの学会発表をすること。今後これが当たり前になるのではないかと考え、実施を検討しております。

また今回、アジア、オーストラリアを中心とした海外の学術大会も同時開催となっていますので、海外の方をお招きする環境づくりも着々と進めているところです。

しっかりと感染対策を行い、会場参加の方は安心して参加していただき、ウェブ参加の方は、施設または自宅から気軽に参加していただけるような参加方式を考えております。

篠原会長：市川実行委員長、ありがとうございました。初めてのハイブリッド方式での学会開催で、これがどう展開されるのか、何ができる何ができないのか、人は集まるのか、海外からの参加は可能なのか、不確定要素のオンパレード

なのですが、実行委員長をはじめ本当に真摯に取り組んでいただいていることに、ただただ感謝しているところです。

結果がどうなるか誰にも分かりませんが、新しい形の学術大会、東京から始まる新たな仕組みを示せたらいいと思います。うまくいけば皆さんの功績、うまくいかなかったら私の責任だと思っていますので（笑）、ちゅうちょせず思うままに活動していただきたいと思います。

市川重司実行委員長：遠慮なく進めさせていただきます（笑）。

白木副会長：この学術大会の準備は一昨年前から始まっています、現在コロナ禍という、思いもよらない出来事に翻弄されてはいますが、ビッグサイトという素晴らしい会場を確保決定するに至った経緯やいろいろな企画も市川実行委員長、野口副実行委員長は、一昨年前から一生懸命取り組まれていましたが、その辺のお話を聞けたらと思いますがいかがでしょうか。

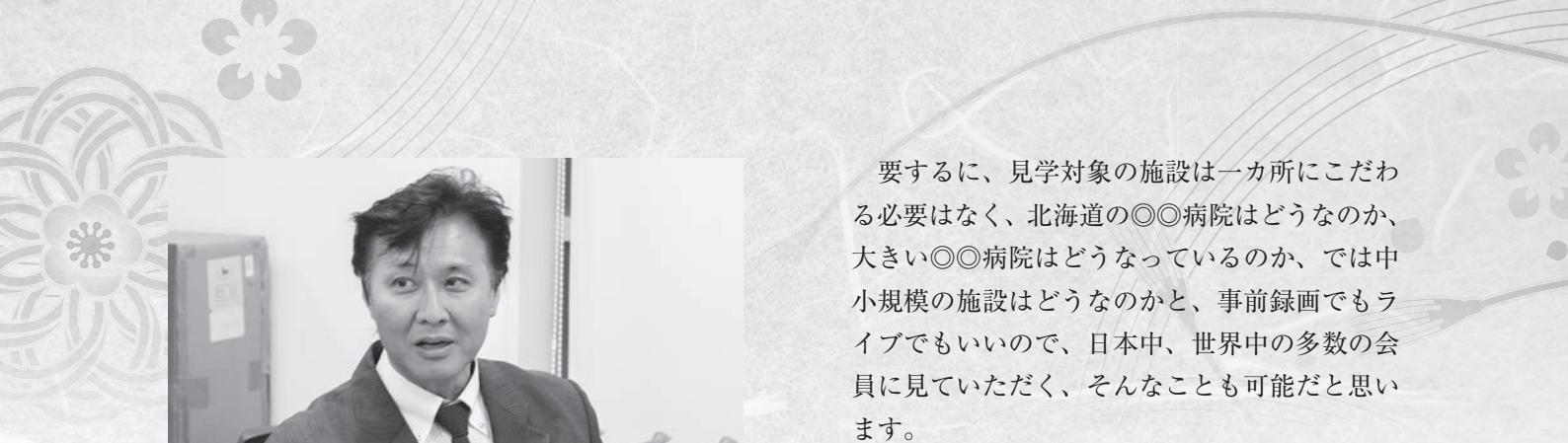
野口副実行委員長：では会場選定の話から。東京に大きな学会場といえば、やはりビッグサイト、国際フォーラム、という2案でまずは動き出しました。日本診療放射線技師会からは江戸川のタワーホール船堀の話もあり、最終的には篠原大会長、市川実行委員長の決断で、ビッグサイトにたくさん人を集めて東京の祭りをやろうという考え方で進めていました。しかしながら、予期せぬコロナ禍の現在ですので、当初の状況よりはいくぶん縮小せざるを得ない状況でもあり、再度企画等の検討をしているところです。

今大会は市川実行委員長の言葉通り、来場とウェブ形式という初めての試みのハイブリッド方式で進めています。

ご来場いただいた方、またウェブ参加の方にも情報がきちんと行き渡るよう、参加して良かったと思える学術大会にしたいと思っています。

麻生副会長：私からも、やはりコロナ禍で開催の準備を疎々と進めないといけないと思います。現時点でも終息が見えていないため、篠原会長が言われた通り何が起こるか、誰にも分からないので、皆で多様性に準じたアイデアを創出した上で正しい選択を検討していかなければいけません。





今までのルールや枠組みにとらわれず、多様性を受け入れなければいけないと考えています。壁を壊しながら色々なアイデアを出して対応していかないとイノベーションにつながらないので、そういう意味では実行委員長に引っ張っていただいているので、面白い学会になるのではないかと思います。

また、今回はウェブ参加が選択できることで、従来、本当は参加したかったが仕事で出られない、職員が少なく参加できない、などの理由で見送っていた会員もいたと思いますので、逆に参加のすそ野は広がるのではないかと思っています。

コロナ禍だからできること、できたこと、後で振り返ったときに未来につながることが大事だと思っています。例えば私は施設見学の担当を予定しているので、これをライブ中継あるいは事前録画で見学していただくことも可能だと思います。

要するに、見学対象の施設は一ヵ所にこだわる必要はなく、北海道の○○病院はどうなのか、大きい○○病院はどうなっているのか、では中小規模の施設はどうなのかと、事前録画でもライブでもいいので、日本中、世界中の多数の会員に見ていただく、そんなことも可能だと思います。

それから、問題になっているランチョンセミナーについてですが、話す人からの感染が問題になるクラスター対策として、事前に部屋を別に設けた大画面のシアター形式はどうでしょう。講演者は別室からライブ中継し、聴講会場では会話はなく食事をすることでセミナー実施が可能ではないかと思います。また、サテライト会場として次回の開催地の神戸とつないでも面白いかもしれません。

こういう経験が、次回ウェブで開催するときの肥やしとなり、さらには継続や発展、イノベーションにつながれば面白いですね。

市川篤志副実行委員長：素晴らしいと思います。

市川重司実行委員長：もっと早く言ってください（笑）。

麻生副会長：すみません（笑）

市川重司実行委員長：サテライトは私も考えていました。例えば遠方の北海道や九州、大阪、そういう所もいいのではないかと思っていました。ただその辺の選択のきっかけをどうしようかと思ってはいたのですが、次回開催県がウェブで参加というのは、確かにいいかもしれませんね。



市川篤志副実行委員長：これはとてもいい宣伝になりますね。次大会は神戸なのだと、皆さん意識の中にしっかりと記憶されます。

市川重司実行委員長：なかなか「現地に来るのもちょっと…」というのもあるだろうから、ある意味ではそれはとてもいいかもしれません。

白木副会長：麻生副会長が言われた通り、「今大会だからできること」の中で、準備さえしっかりしていればいろいろなことができるのだと、大きな可能性を感じる意見だったと思います。通常の会場開催ではライブ中継のみとなりますがないが、ハイブリッド開催ならではの画像を録画編集することで、映画を作るようなさまざまな企画が作れそうですね。

篠原会長：コロナの影響であれができない、これがダメなど、マイナスのほうにばかり考えるではなく、逆手に取って離れている所をつなぐことで、こんなことができるということをわれわれが事例を残して、次の開催県にこういうこともできる、こんな方法もいいね、と提示していければいいですね。



う残り1年を切っています。2月になれば演題募集も始まりますので、急ピッチで準備を進めていかなくてはいけないと思います。大会テーマの『技術の多様性と人の調和』にあるように、ハイブリッド開催という多様性のある新しい形の学術大会を提案するためさまざまな企画を準備しますが、学術大会ですので皆さまの演題があつて成り立ちます。会員の皆さまには1演題でも多くエントリーしていただきますようお願い致します。

野口副実行委員長：私は数年前の本部（日本診療放射線技師会）開催の学術大会も、埼玉での学術大会も実行委員として携わりました。ただ、それが今回の学術大会には、経験値として数えられない状況になってしまったなとも感じています。

よく前会長である中澤会長がおっしゃっていました。「技師会活動を楽しもう」と。その精神をこの学術大会でも、東京魂でみんなでこの学術大会を楽しもうという気持ちで、進めたいと思っています。以上です。



市川重司実行委員長：それはいいモデルケースになりますよね。

白木副会長：準備が本当に大切ですが病院口ケはいいですね。

市川篤志副実行委員長：病院口ケはとてもよさそうですね。

篠原会長：海外の方には要するに、どこか1カ所見学しましたではなく、日本の医療はこういうことをやっているんだということを紹介できれば満足していただけると思いますね。

白木副会長：去年の10月に開催が決定して、も



おわりに（今年の抱負など）

篠原会長：キレイに締まってしまいました（笑）。

もう少し。最後に、先ほどお話しいただいたこと以外の今年の目標や、抱負などをお聞かせ願えればと思います。個人的なことでも結構ですので、では私のほうから先に。

私はおかげさまで6期目の、最後の年度をなんとか迎えられそうな気がしています。

白木副会長：最後？　まだ最後かどうか分かりません（笑）。

市川重司実行委員長：6期目の終わりの年と言つたから、最後でいいのです（笑）。また7期目が始まります（笑）。

篠原会長：6期目の2年目という意味で最後です（笑）。

市川重司実行委員長：1期の終了ということですね（笑）。

篠原会長：次の体制に引き継ぐことを、最大の課題としたいと思っています。

あとは個人的に他愛もないいくつかの挑戦を考えていますが、別の機会に。では皆さん順番に。

白木副会長：はい、今年は1月になってコロナの状況から1年が過ぎたわけですが、オンラインによるコミュニケーションの取り方の難しさを、いまだに感じているところですし、また寂しさも感じています。ですが、この新しい生活様式に慣れていかなくてはいけないと思っています。

3密回避を強いられていますが、オンラインでの情報共有・情報交換は、さらに密接にしていかなければ、なかなか物事が伝わらないのではないかと感じています。人と人の距離は作らなければいけないのですが、オンライン上で距離はどんどん縮めて、もっと密にしてこれから進めていきたいです。

いつも通り今年もOne for all, All for oneの精神で、みんなでこれからも共に盛り上げていきたいと、新しい形の東放技をうまく発展していきたいと思います。以上、今年の抱負とさせていただきます。

篠原会長：ありがとうございます。

麻生副会長：私は昨年から役員として参画させていただいて、篠原会長、白木副会長をはじめ各理事の皆さんのが、仲良いながらも厳しく意見を出し合って、すごく密に膝を詰めて話し合っているのを目の当たりにしています。そういう意味でも今の副会長の役職は大きな責任があると日々強く感じており心引き締まる思いです。

本当はもっともっと頑張らなければいけないのですが、ただ、急にはできないことなので、一歩ずつ少しずつ皆さんのお役に立っていければと思っています。先ほど話したことですが、会員が集えたり、悩んだときに相談できる場の創出ということを考えると、近年の関連法令の改正や昨年4月施行の医療法の一部改正などでは、いろいろな施設の多数の会員が、きっと悩んだり相談したいことが沢山あるはずだと私は思っています。今後は、これらに答える取り組みや窓口の設置をして、少しでも東京都の診療放射線技師の皆さんの一助になればと思いま



す。最終的に会員の増員と結束力の高揚につなげて「一枚岩」をもって大きな事業ができればと思っています。そのためにも、いち早く本会に溶け込み、各地区でのイベントや会合等に足を運び会員の皆さんと意見交換をしたいと思っています。以上です。

市川重司実行委員長：はい、世の中では昨年より新型コロナウイルス感染症、ある意味ではコロナ元年ですね。技師会では学術と教育が分かれ、教育をスタートさせた元年です。

また個人的には仕事も変わり1年生で、知らない土地に行って慣れない中で1年を過ごそうとしているのですが、本年度の技師会に関しては、教育をさらに太いものにしたいという思いがあります。教育的な視点から見た会員への普及活動というか、情報配信をしていきたいと思っています。

個人的には早く新しい職場である教育機関（大学）に慣れたいと思っています（笑）。学生との交流は日々楽しくて、多くの若い人に刺激をもらっているので、自分にとってもいい肥やしになると思っています。今年1年多くの経験をして、さらなる成長をしたいと思っております。以上です。

野口副実行委員長：野口です。技師会役員も比較的長く経験させていただいております。ですが、ただ長いだけではいけないので、きちんと会の運営を進めていくことが大事だと感じています。

私は中から会を正しくスムーズに運営していくことを目標に、定款諸規程等検討委員会なども担当していますので、ルールに則した形の会



務の運営を、今期さらにきちんと進めていきたいと思っています。以上です。

篠原会長：最後に市川理事、お願いします。

市川篤志副実行委員長：締めですか（笑）。

はい、私はいろいろな方とお会いしてたくさんの方の経験を積みたいと考え担当させていただきました。現在は、残念ながらコロナ禍の状況でセミナーも会議もウェブ中心となってしまいました。当初は、開催自体を中止していましたが徐々にウェブでのセミナー開催を始めました。状況次第ではありますが、今後はもう少し会場を使うことも考えいろいろな方と会って話を聞かせていただいたり、経験ができると思っています。

またいいきっかけになるのが、東京大会になるのかなと思っています。たくさんの方に来ていただき、いろいろな経験をさせていただき、楽しい東京大会にできればいいと思っています。以上です。

市川重司実行委員長：すみません、最後に一つ。

やはり現在はコロナ、コロナと言ってしまうのですが、こういう状況で人と人が間を取らなければいけない、「ソーシャルディスタンス」などという言葉が、流行語になるような時代になりましたが、やはり心と心は密であってほしいと思うし、東放技は外から見たらこういう時代の中ですが、あの人はいつも笑顔だと周りが見てくれる、そういうような技師会の在り方が、僕は必要ではないかと思っています。





それはもちろん中身も問われますが、それ以前にやはりそこで会務に当たっている役員が、歯を食いしばっているのに、笑顔を絶やさないでいる。私はよく「歯を食いしばって笑おう」というのですが（笑）。

常に笑いがあるような技師会活動がいいのではないかでしょうか。それにより魅力ある技師会に成長するのではないでしょうか。

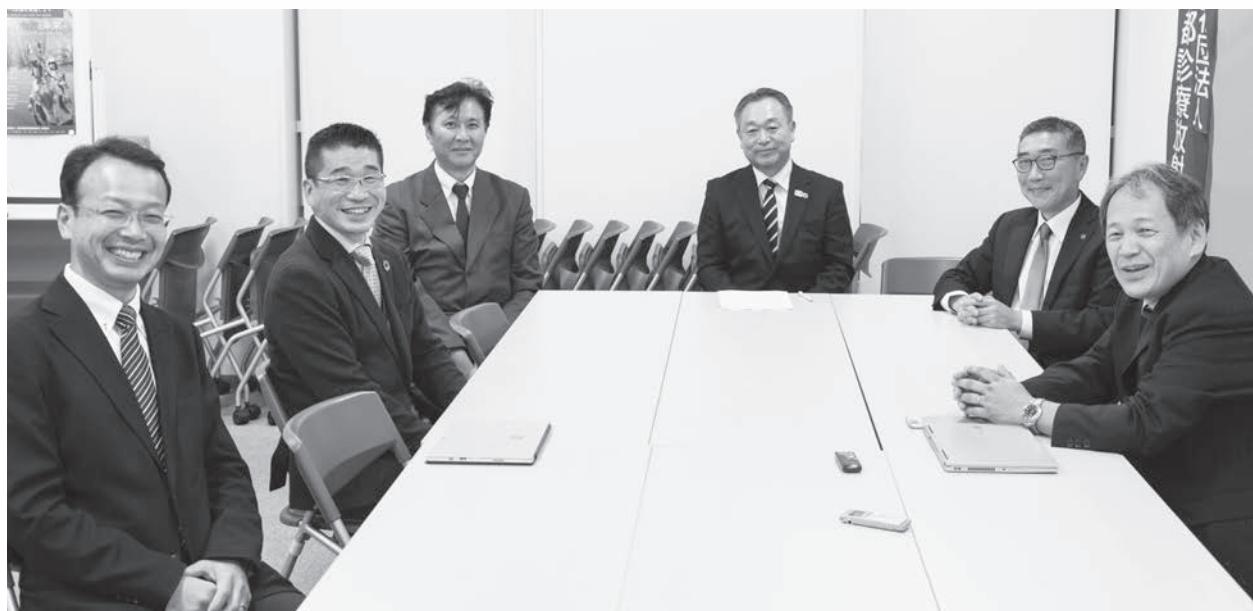
無理して背伸びをするのではなく、本音を出して語り合うのが私は大事ではないかと思っていますので、今年はそれも目標にしていきたいと思います。

篠原会長：ありがとうございます。先ほど野口理事からも中澤前会長のモットーといいますか、「技師会活動を楽しもう」というそういった意

思を受け継いでいるのだという話がありました。孔子の言葉で「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」という有名な言葉がありますが、何かを知っているというよりも、何かを好きだという人にはかなわない、何かを好きだというよりも、何かを楽しんでいる人にはかなわないのだという、やはり楽しむことはとても大事なことだと思いますので、今年も皆さんと共に楽しんで、そして汗をかいていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

一同：よろしくお願いします。

篠原会長：皆さん、本日はありがとうございました。



本座談会開催場所、公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センターにて



本企画と準備に携わった編集委員

「診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナー」に参加して

日本大学医学部附属板橋病院 森 寛菜

2020年10月4日に開催された「診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナー」に参加させていただきました。

今回のフレッシャーズセミナーは、オンライン開催であり、私自身も初めてのオンラインでの参加となりました。オンラインという慣れない環境下で不安もありました。セミナーで使用するZoomというアプリは私にとっても初めて使うアプリで大変戸惑いました。開始直後、接続の不具合もあり、数分セミナーに参加できない状況が続き不安になることもありましたが、それ以降は不具合もなくスムーズにセミナーに参加することができました。

今回は診療放射線技師として必要な基礎的な撮影技術や知識だけではなく、組織人・医療人としてのエチケットやマナー、コミュニケーションを具体的に学ぶことができました。

医療コミュニケーション講座では「傾聴すること」の大切さをあらためて学びました。業務が忙しくなると「患者さんの声」が聞こえづらくなり大切にすることできなくなってしまうということでした。今回学んだ「傾聴すること」を忘れずに業務にあたっていきたいです。

また感染対策講座では、新型コロナウイルスで大事な感染対策を一から学べました。接触、飛沫、空気感染で予防策の具体的な違いをもう一度確認する

良い機会になりました。

気管支解剖講座では、図や実際のCT画像によるキー画像を用いて分かりやすく学ぶことができました。私はまだCTに配属されていないので、配属されたときの準備ができてよかったです。加えて気管支体操は、走行を体で覚えるという方法で頭に入りやすかったです。実際に一緒に体を動かして覚える部分ではオンラインがゆえに周りに人が居ないので、恥ずかしがることなく気管支体操を行えました。

臨床検査値と画像に関する講座では、診療放射線技師の専門外である血液検査について学ぶことができました。専門の画像と、他の領域の検査とがお互いに補完し合って分かりやすい解説でした。私も患者さんのためにより良い医療につなげていくことを目指していきたいと思いました。

今回は新型コロナウイルスの影響により集まることが難しい中、このようなセミナーを開催していただきとても感謝しています。参加する側だけでなく企画をしてくださった東京都診療放射線技師会の講師の先生、役員の皆さんも慣れずに困難な部分も多かったと思います。このセミナーで得たものを今後の業務につなげて成長していきたいと思っております。ありがとうございました。

こえ

第108回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して

JCHO徳山中央病院 福永慎一郎

第108回日暮里塾ワンコインセミナーに参加させていただきました、山口県にあるJCHO徳山中央病院の福永と申します。

私は日頃からさまざまな都道府県技師会のホームページを拝見し、面白そうで為になりそうな学会や勉強会を探しております。その中でも以前から気になっていたのが日暮里塾ワンコインセミナーでした。

今回、コロナ禍の影響でZoom開催とのことでしたので、山口県在住の私ですが初めて日暮里塾ワンコインセミナーに参加することができました。

今回の講演内容は「バリウムの基本特性」でした。撮影法や読影などにフォーカスした講演はたくさん

ありますが、バリウムにフォーカスした講演はあまり聞ける機会がありませんでしたので興味をそそられました。

日暮里塾ワンコインセミナーはメーカー講演も多数あるため、あまり他では聞くことができない内容を拝聴できるのも魅力のひとつだと思います。「硫酸バリウムとは?」から始まり、開発側の意見としての製剤選択のポイントまで綺麗にまとめられた講演であり濃密な40分でした。とても貴重な講演を拝聴させていただきありがとうございました。

日暮里塾ワンコインセミナーに今後も参加させていただければと存じます。

第36回 日本診療放射線技師学術大会 -WEB開催-

国民と共にチーム医療を推進しよう



人と技術をつなぐ 令和の未来へ

会期 2021年1月8日～31日

会場 Web開催

会長 上田 克彦

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長 立花 茂

公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援 厚生労働省

参加登録のお知らせ

□ 事前：2020年10月5日(月)～12月17日(木)

□ 会期中：2021年1月8日(金)～1月21日(木)

■ 申込方法

JART情報システム(JARTIS)よりお申込み



会期中の参加登録は、JARTISでの申し込みから参加ができるようになるまで数日かかることがあります



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

T983 -0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL : 022 (388) 3777 FAX : 022 (388) 3778

日本診療放射線技師連盟 2020 No. 7 ニュース (通巻No.55)

連盟活動報告

- ① 9月25日(金)岸田文雄と国政を語る会に参加
- ② 10月 2日(金)東京医科歯科大学医学部附属病院に設置されたコロナ外来診療センター(コロナ専用屋外感染対策CT検査室)の視察
- ③ 10月 2日(金)衆議院第一議員会館にて、畠元将吾 議員と芳士戸理事長上田JART会長とで意見交換
- ④ 10月 5日(月)宏池会と語る会に参加



第35回 令和2年9月25日(金)

1. 自民党総裁選への挑戦を振り返って
2. 著書『岸田ビジョン』について
「分断から協調へ」
成長の果実の分配
成長のエンジン
新しい資本主義
デジタル田園都市構想
ソフトパワー外交
3. 菅新政権への期待
デジタル庁
新しい国際秩序への対応
4. 次なる挑戦へ

①



コロナウイルス感染対策CT予算として
20億円取得(畠元将吾議員 報告)

事務局からのお願い

本連盟の年度は1月から12月となっております。早めに年会費のお支払いをお願いいたします。
平成29年第2回理事会において、平成30年度より、会費納入規程が変更となり、
年会費が一口2,000円で一口以上となりました。年会費の請求に同封する払込用紙には、
金額が記載されておりませんので、ご自身で記載し、ご納入くださいますようお願い申し上げます。
また、令和元年度第5回理事会において承認されました各都道府県別規定額の寄付金のご納入も併せて
お願い申し上げます。
随時、寄付を受け付けております。口座番号00100-2-667669 加入者名:日本診療放射線技師連盟(郵便局に備え付けの払込用紙でお振込みください)

日本診療放射線技師連盟

2020 No. 8 ニュース
(通巻No.56)

発行日 令和2年11月15日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階A
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 10月22日(木)埼玉ナイトセミナー(Web)に参加
- ② 11月4日(水)自由民主党 予算政策懇談会に参加(以下、要望)
 - ・医療安全のための適切な放射線関連医療機器の管理体制の推進
 - ・新型コロナ感染症における診療放射線技師の業務実態
- ③ 11月12日(金)あぜもと将吾政経フォーラムに参加



睦元将吾氏は国会で何をしているの?
新型コロナウィルス感染症制度における永田町での戦い！！



事務局からのお願い

本連盟の年度は1月から12月となっております。早めに年会費のお支払いをお願いいたします。
平成29年第2回理事会において、平成30年度より、会費納入規程が変更となり、
年会費が一口2,000円で一口以上となりました。年会費の請求に同封する払込用紙には、
金額が記載されておりませんので、ご自身で記載し、ご納入くださいますようお願い申し上げます。
また、令和元年度第5回理事会において承認されました各都道府県別規定額の寄付金のご納入も併せて
お願い申し上げます。
随時、寄付を受け付けております。口座番号00100-2-667669 加入者名:日本診療放射線技師連盟(郵便局に備え付けの払込用紙でお振込みください)

会員動向

2020年4月～11月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2019年度末集計	2,316	205	26	25	125
2020年 4月	2,317	3	4	3	3
2020年 5月	2,340	24	2	3	0
2020年 6月	2,345	14	2	9	2
2020年 7月	2,345	8	0	7	1
2020年 8月	2,345	1	0	0	1
2020年 9月	2,344	7	0	3	5
2020年10月	2,346	9	1	4	4
2020年11月	2,354	13	1	1	5

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。

医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させて頂きます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9：00 ~ 18：00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail:info@jmb88.co.jp URL:https://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可:派13-301371 有料職業紹介事業許可:13-ユ-130023

News

1月号

日 時：2020年11月5日（木）
午後7時00分～7時40分
場 所：インターネット回線上
出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、
江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
竹安直行、浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、
宮谷勝巳、渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一
出席監事：野田扇三郎、葛西一隆
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、島田 諭（第2地区委員長）、小林隆幸（第4地区委員長）、中田 健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、中西雄一（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、小野賢太（第12地区委員長）、青木 淳（総務委員）、新川 翔太（総務委員）
欠席理事：なし
欠席監事：なし
議 長：篠原健一（会長）
司 会：麻生智彦（副会長）
議事録作成：新川翔太

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

会長挨拶

葛西監事が11月3日の秋の叙勲において旭日単光章を受章された。本日、東京都庁において伝達式が行われ、小池百合子都知事より授与された。東京都診療放射線技師会を代表して、心よりお喜び申し上げたい。今年も2ヵ月を切り、間もなく第37回日本診療放射線技師学術大会まで1年を切る。本日の理事会後、市川実行委員長より大会準備の進捗状況を報告していただく。また、10月よりワンコインセミナーおよびフレッシャーズセミナーが順次開催されている。教育、学術委員会並びに役員の皆さんに感謝申し上げたい。新型コロナウイルスの影響下においても、われわれにできることを探していくたいと考えている。今後とも皆さまのご協力をお願いしたい。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

10月20日に中間監査が行われた。報告を後ほど葛西監事から行っていただく。

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

麻生新副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

市川学術委員長：

事業申請を提出した第112回日暮里塾ワントインセミナーについて、講師として予定していた方が10月末をもって退職となってしまった。本日連絡があり、講師が三田屋製作所営業本部長である横内氏に変更となる。こちらも併せて事業の承認をお願いしたい。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

小林第4地区委員長：

10月のWeb地区委員会は、Zoomではなく時間無

制限のMicrosoft Teamsを使用して地区委員会を行った。

7) 中間監査報告

- ・葛西監事より中間監査報告が行われた。

8) その他

- ・特になし

議 事

1) 事業申請について

①第112回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：グリッドの構造と最新技術

日 時：2021年2月3日（水）19時00分～19時40分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

②第113回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：骨密度の理解と最新トピックス

－TBS、3D-SHAPER、Echosシステム－

日 時：2021年2月18日（木）19時00分～19時40分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

2) 後援名義申請について

鈴木総務委員長：

資料で添付させていただいたが、第15回医療の質・安全学会学術集会より後援申請がきている。ご承認をお願いしたい。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

3) 新春のつどいについて

鈴木総務委員長：

例年では毎年1月に新春のつどいを行っているが、専門部委員会においても新型コロナウイルスの影響で大規模な飲食を共にする集会を開催できる状況ではないとの結論となった。本年度の新春のつどいは中止ということで議事のご審議をお願いしたい。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

4) 新入退会について

10月：新入会9名、転出4名、転入1名、退会4名

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第5地区

- ・第5地区研修会で、Zoomでの開催を考えているが、無料版は時間制限や人数制限等の制約があり場合によっては活性化資金で契約を考えている。再度の確認だが、TARTで契約しているZoomを第5地区研修会

で使用させていただくことは可能か確認をしたい。第5地区研修会は参加費無料を考えている。講師料の支出源について確認させてほしい。

鈴木総務委員長：

Zoomでの開催にこだわる必要はなく、Microsoft Teams等の時間無制限の無料のツールを使用していただきたいと考えている。現時点では、Zoomの有料契約を各地区で使用してできるよう拡大するつもりはない。

関経理委員長：

講師料の支出源は参加費ではなく、東京都診療放射線技師会の財源から賄っている。

第6地区

- ・ワンコインセミナーの開催場所が研修センターになっているが、インターネット環境は整っているのか。またインターネット環境がある場合は地区研修会や地区委員会での使用は可能か。

野口庶務委員長：

研修センターではインターネット環境は整っているが、セキュリティの問題で現時点では使用はできない。

麻生副会長：

現時点ではセキュリティの問題で使用できないとのことですが、今後に関しては検討する。

連絡事項

浅沼編集委員長：

地区委員長の方々にはメールをしたが、イエローケーキ改め東放見聞録を1月号から再開する。新任理事、地区委員長で書き方が分からぬ方がいましたらご連絡をいただきたい。

市川教育委員長：

ワンコインセミナーおよびフレッシャーズセミナーにご参加いただいた皆さまに感謝申し上げたい。参加状況を憂慮していたが、各回30名以上のご参加をいただいた。今後も事業を計画しているのでご協力をお願いしたい。

江田厚生調査委員長：

今月の会誌にも掲載しているが、本年度のアンケート調査は12月より実施予定である。本年度のテーマは東京都における新型コロナウイルスの対応に関してである。Googleを用いての回答となるので、皆さまのご協力をお願いしたい。

野口庶務委員長：

本日の理事会で新春のつどいの中止が承認されたことを受け、これから来賓やメーカーの方々に中止の旨

の連絡をする予定である。皆さんにも自施設のメーカーの方々に中止の旨をご周知いただきたい。

鮎川第13地区委員長：

東放見聞録に関して、作業開始月と原稿締め切りの期日に誤りがあるのではないか。

浅沼編集委員長：

ご指摘いただいた点は修正致します。原稿締め切りは会誌掲載月の前々月末である。

今後の予定（総務委員会）

11月11日に第108回、11月25日に第109回、12月2日に第110回日暮里塾ワンコインセミナーが行われる。日本診療放射線技師会の事業では、11月22・23日に統一講習会が行われる。例年では12月に役員研修会が行われるが、本年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった。第9回理事会は12月3日に行う予定である。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2020年度

1. 学術研修会

第23回メディカルマネジメント研修会
☆第19回ウインターセミナー

未定

中止

2. 生涯教育

第69回きめこまかな生涯教育

中止

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第112回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催
第113回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催
第114回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催
第115回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催

2021年2月3日(水)

2021年2月18日(木)

2021年3月3日(水)

2021年3月18日(木)

☆4. 第20回東放技・東京部会合同学術講演会

5. 集中講習会

第13回MRI集中講習会

中止

☆6. 支部研修会

城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会

未定

7. 地区研修会

8. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会
SR推進委員会研修会

2021年3月6日(土)

2021年3月14日(日)

9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動
日暮里駅前清掃活動
富津海岸清掃活動

中止

関連団体

第36回日本診療放射線技師学術大会

2021年1月8日(金)～31日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

東 放 見 聞 錄

「ショーシャンクの空に」(注・少々ネタバレあり)

コロナ禍で在宅時間が増えた影響もあり自宅で映画を見る機会が増えました。そこで今回は、「ショーシャンクの空に」(原題: The Shawshank Redemption)という映画をご紹介したいと思います。

この映画は1994年アメリカで公開されました。最初から大ヒットというわけではなかったものの、作品として評価が高く、徐々に人気となり、その年のアカデミー賞では7部門にノミネートされました。

初めて見たのは学生時代、レンタルビデオ屋に飾られた、一人の男性が、降りしきる雨に向かって両手を広げているセピア色のポスター。それがとても印象的で誘われるようにケースを手にしたことを思い出します。

この映画は、モーガン・フリーマン演じる調達屋エリス・ボイド(レッド)のいるショーシャンク刑務所に、ティム・ロビンス演じる若く優秀な銀行員アンドリュー・デュフレーン(アンディ)が妻とその愛人を射殺した罪で収監されるところから始まります。

私のオススメポイントは2つあります。1つ目は「映画全体にちりばめられた伏線」です。映画はレッドの回顧録で始まりますが、その中に最初の伏線が入っています。

久しぶりにこの映画を見た時、それが伏線だとは気が付きました(完全に忘れていました)。収監されたアンディは、直後は他の囚人と馴染めずにいましたが、レッドと意気投合し、初めて調達を依頼します。これがこの映画のキーとなる伏線となっています。冒頭だけで2つもありますが、映画が進むにつれ、もっと多く伏線がありラスト30分で全て回収します。とても丁寧に作られており最後まで見ると清々しさを感じるくらいです。

2つ目は「絶望と希望」です。アンディに転機が訪れます。それをきっかけに、アンディの能力は所内で認められ、図書室での仕事を言い渡されます。アンディは図書活動を精力的に行い、数年かけて寄付金と古い図書の獲得に成功しました。その中にあったレコードを許可なく放送し懲罰房に送られます。仲間の元に戻った時「音楽と希望は誰にも奪えないものだ」と話します。しかし、レッドは「希望はここでは危険なものだ」と忠告します。時は流れ、服役して20年が経ったころショーシャンク刑務所にトニーが収監され、彼からアンディの事件について新事実を知ります。そしてアンディは遂に動き始めます。

映画のラストシーンはアンディの希望が詰まった素敵なシーンで終わります。見終わった時、温かい気持ちになりました。もし時間があればご覧になってください。

余談ですが、コロナ禍で就活を続けている妹が未だ決まらないと嘆いていたので「ショーシャンクの空に」を勧めました。私の気持ちが伝わればよいのですが…。

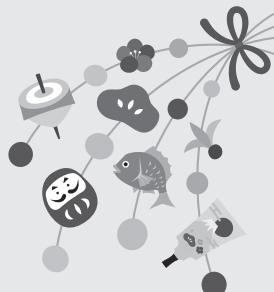
sachy

Postscript

皆さま、明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナという未知のウイルスにより、社会的にいろいろと変化のあった年でした。関係はありませんが、わが家では長年使っていた家電が次々と交換の時期を迎えるました。掃除機、炊飯器に冷蔵庫…。不思議なことになぜか重なる時は重なるもんだなと。なかでも蛍光灯からLEDへ交換の際には苦労しました。劣化が原因か、大した衝撃を加えた訳でもなかったのに爆発したからです。破片も遠くまで飛び散り、片付けだけでも一苦労。朝からゴミ捨て場を掃き掃除することになりました。後で調べてみると、周囲との気圧差で起きる爆発ではなく爆縮という現象らしいです。蛍光灯は低圧にしたガラス管内に封入ガス（アルゴンあるいは混合希ガス）と少量の水銀の気体、塗布されている蛍光物質（白色の粉末）が封入されており、割れた際にはそれらが飛散するそうです。水銀は微量で身体への影響はほとんどないそうですが、有

害なので室内で爆縮した際は換気が必要ということも後で知りました。ゴミを出す際も地域によって異なるらしく、不燃ごみではなく資源ごみ扱いになる地域もあるそうです（ちなみに割れたら不燃ごみでいいそうです）。今回は野外で起きたので問題なかったですが、室内で起きたらと思うちょっと怖かったです。これを機に残りの蛍光灯もLEDに交換しようかと考えておりますが、その際は前回以上に慎重に行おうと思います。些細なことにもしっかりとした情報収集と慎重で冷静な行動が必要と再認識した出来事でした。

B.F.S



東京放射線 第68巻 第1号

令和2年12月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和3年1月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <https://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一